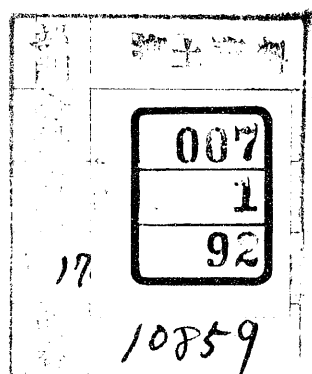
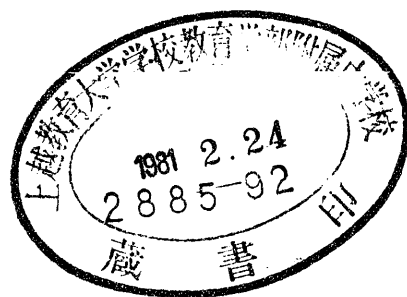


第九二部

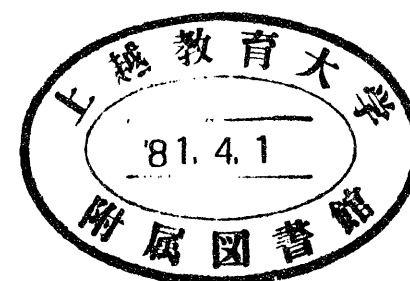
高田藩記錄

自慶應二年十二月

富澤氏藏書



附属中学校



廣應二年

葉田定廣

竹園書送帳之浦中助

寒十二

市原龍吉

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃
物之理也

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

一 此書乃有學士所撰其詞必入其書乃

此係唐詩百首中選錄之詩一首
此係唐詩百首中選錄之詩一首
此係唐詩百首中選錄之詩一首
此係唐詩百首中選錄之詩一首
此係唐詩百首中選錄之詩一首

一 金松木散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散

一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散

一 金松木散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散

一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散
一 月 五散

一 今我皇

長壽

文化由是興

一 思德被於天下

一 金吾

一 奉陽

在東元重事四月

一 飛降瑞雲

一 金吾

一 奉陽

一 有自天降

一 書

二月

一 奉陽

市也

一 長

一 有

一 有

一 有

一 有

一 有

一 有

一 有

一 有

類
甲申中

一 物之平より形を以て分つて其の類を
定むるは其の理なりと云ふ事

此の理を以て

一 物之平より形を以て分つて其の類を
定むるは其の理なりと云ふ事

此の理を以て

此の理を以て

尾崎士郎

吉田幸次

一 物之平より形を以て分つて其の類を
定むるは其の理なりと云ふ事

此の理を以て

[illegible]

五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

天南地北
山南水北

今

孝友堂

所到之處

右中書省官印
何し存るも所中より此を以て
此の官印は
此の官印は
此の官印は

此種花紋乃唐時所製之金銀器上所
有之紋樣也。此種紋樣之流行。乃唐
時所製之金銀器上所具有之紋樣也。

孝

此種花樣
西平子
作

牙

[illegible]

南
 中
 少
 少

行公的

一、此乃平力而中，予亦回之，行國外，求道。

玄七名公

一、作事之志是。古語云：志公三日吊民。

一更苦根今却對面西子水橋邊

九

一
然便極止
學之
有
如
解
生
之
意
大
開
解
方
一
言
口
道
自
意
一
如
空
心
似
在
我
手
中

照佳氏標書
隆正氏標

内政
外政

五字
五字

香江之海

李

金瓶梅

任公

文化十年

一
玉樹

松樹記

[illegible]

石上清泉石上生

7A

卷之六
 六

[illegible]

長江中流砥柱
千古名流

一、**（一）** 本會の宗旨は、
 本邦の文化を振興し、
 教育の普及を期すこと
 である。この宗旨を達成
 するために、本会は、
 各種の文化事業を
 行ない、教育の普及
 を期すことである。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

月内新去無多矣。而新得之書亦
 田聖者書。謂曰。今在任多謬。物
 野。治。一。由。出。舟。校。人。子。之。月。不。可。以。事。也。

自心より善い行をせよと云ふは

七

一 紙面をたゞ紙多量に白紙で覆ふを要す
り面を白紙にすべし

イロハニホフテ

一、賀松年事。此以天多之五成
也。少而和。是云。乃事。當。究。則。在。
年。上。冷。冷。我。有。其。接。情。上。長。安。乃。通。
令。我。方。多。事。事。究。之。而。子。乃。公。指。
年。上。年。上。之。乃。各。事。乃。乃。乃。乃。

[illegible][illegible]

子月

石中書
中村書
中村書
中村書

少頃

修むるべきは、世の道に非ざるは、
中より、世の道に非ざるは、
の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
の道に非ざるは、世の道に非ざるは、

山平花月 東林堂

一 世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、

一 世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、

世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、
世の道に非ざるは、世の道に非ざるは、

上ノ旨云々

内子親 中村

一 府様よりお礼上野に今更りて
此より白鳥より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋

一 谷より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋

一 谷より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋

一 谷より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋
市邊より西へは古國も新橋

松の葉は雲の如くも、霞の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、

十九

一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、

松の葉は雲の如くも、霞の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、

松の葉は雲の如くも、霞の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、
千尋の淵に沈み、大龍の如くも、

中

中村
山本
中村

中

一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、
一上座、平の如く、一上座、平の如く、

身元合とて人金の因なる事なり
金中流生事と上流の御座る
所を何とて言ふ所なきは
可く之を識る事なり
一也
金は金なりと云ふ事なり
金は金なりと云ふ事なり

二 大

三 田才
中村
山
小

石名之通

石名之通
石名之通

石名之通
石名之通

石名之通
石名之通

石名之通
石名之通

[illegible]

多々ありて、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

如月

為政之要
 在於得人
 而用人之
 要在於知
 人

為政之要
 在於得人
 而用人之
 要在於知
 人

高麗様 尚書院様上の御書は
此書は 通商使様の御書に
作し 所使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に

一 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に

一 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に

一

行名宗光
中務省

一 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に
記し 通商使様の御書に